



Q175. カミングアウトとアウトイングというのは？

A. 人権に関わる大切なことなの。



性的話だけに限ったことではなく、自分の秘密やプライベートに関することを他者に告白することを「カミングアウト」といいます。

これは本人の意思で行われるもので、他人が口をはさむことはできません。秘密にしていたければ言わないし、伝えようと考えて伝える、それだけの話なの。

これに対して、本人の承諾を得ずに、第三者がその個人の特性や障がい、セクシュアリティやジェンダーなどを他者に言いふらすことを「アウトイング」といいます。

2015年に、自身のセクシュアリティを「アウトイング」されたことが引き金になって、一橋大学の男子学生が自死した事件があったわ。

この悲しい事件がきっかけで「アウトイング」を世間が知るところとなったの。

これは重大な人権侵害で、そのために対人援助職には「守秘義務」というものが課せられているの。

本人や家族が公にしていらない秘密やプライベートを暴露してしまう「アウトイング」は、本人や家族の精神的苦痛になるし、居場所を奪ってしまうことにもなりかねない。

人権の侵害につながり、上のような悲しい事件になってしまうことも多いのです。

「アウトイング」の怖いところは「ここだけの話だけど...」がまかり通っているという現状です。

している側は、自分が「アウトイング」している、とは思ってもみないことがほとんど。

なんとなく大変な情報が他者に共有されてしまっている、ということが起こってしまうのね。

これに対して「カミングアウト」は「アウトイング」に似ているようだけれど、全然違うのね。

本人が自分の意思で、自分の秘密にしていることを第三者に伝えるの。

あくまで、本人の選択、ということなのですね。

○さんが△さんに自分の秘密を打ち明けたとします。

これは○さんが△さんに「カミングアウト」した、ということです。

○さんは、自分の意思で伝えることを決めた、のですね。

これを受けて、△さんが○さんの許可なく、◇さんや◆さんにその秘密を言ってしまうこと、これが「アウティング」といわれるものの。

○さんからすると、△さんに信頼を裏切られただけでなく、知られたくない人にまで秘密を知られる、という二重のショックを受けることになるわ。

また秘密を知っている第三者が「カミングアウトしろ」と迫るのも「アウティング」で、決して軽いノリで済まされるものではないのです。

「カミングアウト」は本人や家族にとってとてもハードルが高いもので、自分でも言い出せなくて苦しい気持ちになっている人がいるの。

他者の尊厳やアイデンティティに関わるナイーブな内容のため、伝えられてもひとりで抱えきれなかったり、むしろ良かれと思って悪意なく他者と共有してしまう人もいるのね。

2020年6月から厚生労働省は「パワハラ防止法」を施行して「アウティング」もパワハラの対象である、と定めているわ。

自分の尊厳やアイデンティティを無理やり飲み込んで、自分が苦しむことで隠し通せるとしたら、とりあえずは現状のままが保たれるわ。

伝えることで、それまでの関係性や信頼が崩れてしまうリスクも、また考えておかなければいけないことなのね。

崩れてしまうかもしれない信頼や関係性、それが親や兄弟・姉妹、仲の良い友人だったとしたら、怖いと思うことは当然ですよ。

特性や障がい、[セクシュアリティ](#)を「カミングアウト」された○さんは、偏見なく受け入れられるかもしれない。

でも伝え聞いた◇さんや◆さんは拒否してしまうかもしれないわ。

いつ、誰に、どのように伝えるか、は本人自身にしか決められないものです。

対人援助職に従事していると、とかく他者の秘密を見知ってしまう機会が多いものです。

これはやはり、従事者ひとり一人が自分で気を付けなければならないこと。

“これは言っても大丈夫なことなのだろうか”と振り返ってみることが必要なのですね。

《MENU》

[《伝えるときには？》](#)

[《これで終わりなの？》](#)

放課後等デイサービス支援事業
Support Project of
Day-service for After-school
At Kyoto

2021-03-18 掲載